

# 預金等の不正な払戻しが発生した場合の補償について

当金庫では、万一、個人のお客さまが偽造・盗難キャッシュカード、盗難通帳（証書）またはインターネットバンキングによる預金等の不正な払戻し被害に遭われた場合には、次の補償基準等に基づき補償を行わせていただきます。

## ◎預金等の不正な払戻しに係る補償基準等について

	預金者保護法による補償		信用金庫の自主ルールによる補償	
	偽造キャッシュカード被害	盗難キャッシュカード被害	盗難通帳（証書）被害	インターネットバンキング被害
お客さまに重大な過失または過失がなかった場合	原則として被害額の全額を補償させていただきます。			
お客さまに過失があった場合	原則として被害額の全額を補償させていただきます。	原則として被害額の75%を補償させていただきます。	お客さまの被害に遭われた状況等を踏まえ、当金庫において個別に補償の判断をさせていただきます。	
お客さまに故意または重大な過失があった場合	被害額は補償いたしかねる場合があります。			
補償のためにご協力いただく事項	①当金庫への速やかな通知 ②当金庫への十分な説明 ③お客さまによる警察署への被害事実等の事情説明やその捜査への協力	①当金庫への速やかな通知 ②当金庫への十分な説明 ③警察署への被害届の提出やその他盗難に遭われたことを推測するに足る事実の確認ができるものの提示	①金庫への速やかな通知 ②金庫への十分な説明 ③お客さまによる警察署への被害事実等の事情説明やその捜査への協力	

## ◎お客さまの「重大な過失」または「過失」となりうる場合

預金等の不正な払戻しに係る被害に遭われたときに、お客さまに「重大な過失」または「過失」があった場合には、被害額の全額または一部について補償いたしかねるケースがありますので、十分ご注意ください。

なお、お客さまの「重大な過失」、または「過失」となりうる場合は以下のとおりです。

	「重大な過失」となりうる場合	「過失」となりうる場合
偽造・盗難キャッシュカード被害	<ol style="list-style-type: none"> <li>他人に暗証番号を知らせた場合（※）</li> <li>暗証番号をキャッシュカード上に書き記していた場合</li> <li>他人にキャッシュカードを渡した場合（※）</li> <li>その他①～③までの場合と同程度の著しい注意義務違反があると認められる場合</li> </ol> <p>※病気の人が介護ヘルパー等に対して暗証番号を知らせうえでキャッシュカードを渡した場合など、やむを得ない事情がある場合はその限りではありません。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>次の①または②に該当する場合 <ol style="list-style-type: none"> <li>生年月日、電話番号などのナンバーを暗証番号にしていた場合で、かつ、キャッシュカードをそれらの暗証番号を推測される書類等（免許証など）とともに携行・保管していた場合</li> <li>暗証番号を容易に他人が認知できるような形でメモなどに書き記し、かつ、キャッシュカードとともに携行・保管していた場合</li> </ol> </li> <li>上記（1）のほか、次の①のいずれかに該当し、かつ、②のいずれかに該当する場合でこれらの事由が相まって被害が発生したと認められる場合 <ol style="list-style-type: none"> <li>暗証番号の管理 <ol style="list-style-type: none"> <li>生年月日、電話番号などのナンバーを暗証番号にしていた場合</li> <li>暗証番号をロッカー、携帯電話など当金庫の取引以外で使用する場合としても使用していた場合</li> </ol> </li> <li>キャッシュカードの管理 <ol style="list-style-type: none"> <li>キャッシュカードを入れたお財布などを他人に容易に奪われる状態においた場合</li> <li>酔てい等キャッシュカードを他人に容易に奪われる状況においた場合</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>その他上記（1）、（2）の場合と同程度の注意義務違反があると認められる場合</li> </ol>
盗難通帳（証書）被害	<ol style="list-style-type: none"> <li>他人に通帳（証書）を渡した場合（※）</li> <li>他人に記入、押印済みの払戻請求書、諸届を渡した場合（※）</li> <li>その他お客さまに①および②の場合と同程度の著しい注意義務違反があると認められる場合</li> </ol> <p>※病気の人が介護ヘルパー等に対してこれらを渡した場合など、やむを得ない事情がある場合はその限りではありません。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>通帳（証書）を他人の目につきやすい場所に放置するなど、他人に容易に奪われる状態においた場合</li> <li>届出印の印影が押印された払戻請求書、諸届を通帳（証書）とともに保管した場合</li> <li>印鑑を通帳（証書）とともに保管していた場合</li> <li>その他お客さまに①～③の場合と同程度の注意義務違反があると認められる場合</li> </ol>
インターネットバンキング被害	お客さまの被害に遭われた状況等を踏まえ、個別の事案ごとに判断させていただきます。	

## ◎盗難キャッシュカード・盗難通帳（証書）・インターネットバンキング被害が発生した場合の留意点

- 盗難キャッシュカード・盗難通帳（証書）・インターネットバンキング被害に対する補償対象は、原則として当金庫に通知が行われた日の30日以内の日以降に遭った被害です。
- お客さまの配偶者、二親等内の親族、同居の親族等によってご預金等が引き出された場合や被害状況にかかる重要事項についてお客さまから虚偽の説明があった場合などには、補償をいたしかねる場合があります。

キャッシュカードや通帳の盗難、預金等の不正な払戻しが発生した場合は、すぐに下記までご連絡下さい。

受付時間		ご連絡先
平日	8:45~17:15	お取引店舗 ※店舗検索は <a href="#">こちら</a> または 業務部 TEL:059-354-9971
	上記以外	株式会社東海信金ビジネス 自動機監視サービス TEL:052-203-8299
土曜日・日曜日 祝日	終日	